

令和8年2月24日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）選ばれる県立高校づくりについて

授業料無償化の拡充により高校選択の前提が大きく変化する中、県立高校の存在意義や社会的役割をどのように再定義し、県立高校を「選ばれる存在」へといかに転換していくのか、教育長の所見を伺う。

また、県の経済・産業を支える専門的な学びを展開する実業系専門高校について、未来を見据えた高度な実業教育へどのように改革していくのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

今後、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップや、理系人材の不足が生じる可能性が指摘される中で、高等学校には、

- ・ 不確実な時代に自立して生きていく主権者として、AIに代替されない能力や個性を伸長すること、
- ・ 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材を育成すること

などが求められている状況にあります。

こうした中、特に、県立高等学校には、全県的な観点から教育の機会均等を確保するとともに、

- ・ 地域に愛着を持って人の暮らしと安全を支え、地域の持続的な発展を支える人材や、
- ・ AI等のデジタル技術を活用して、ものづくり等の地域産業の持続的な成長を牽引する専門人材など、

多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手として活躍する人材を育成する役割があり、選ばれる県立高等学校となるよう、最先端の学びを実現する一層の特色化・魅力化を進めていく必要があると考えております。

このため、県立高等学校の再編整備計画の素案におきましては、学校統合と学科改編を組み合わせ、大学や地域産業界と連携して、探究活動に取り組むことを通じ、地域社会の課題解決に貢献できる人材の育成を目指して、「新しい普通科」を設置するほか、地域産業界と連携して実社会の課題を解決する力を育む新たな学校・学科を設置することとしております。

とりわけ、実業系専門高校につきましては、未来の経済・社会にイノベーションを興す力を底上げする起点としての役割を果たすことができるよう、

- ・ 工業科、商業科の専門的な学びの継続に加え、D XやA I活用など先端技術に対応し、地域に貢献できるものづくりとビジネスのスペシャリストを育成する学校のほか、
- ・ 農業D Xを取り入れた高度な実習環境を整備し、高等教育機関や産業界等と連携・協働することで、次世代の農業の形を創造する学科や、
- ・ ロボットやモビリティ、A I等の技術など産業の最前線で通用する実践的な知識・技術を身に付ける学科

を設置するなど、本県の地域社会や産業の未来を支える人材を育成する高度な実業教育の拠点としての整備に取り組んでまいりたいと考えております。